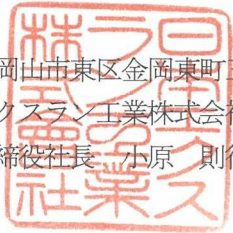


瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和8年6月 17 日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

所在地 岡山県岡山市東区金岡東町三丁目3番1号
名称 日本エクスラン工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小原 則行



工場又は事業場の所在地及び名称

所在地 岡山県岡山市東区金岡東町三丁目3番1号
名称 日本エクスラン工業株式会社 西大寺工場

1 許可申請書の概要

(1) 特定施設設置（変更）の理由及び内容

日本エクスラン工業株式会社が管理する特定施設『 67 洗濯業の用に供する洗浄施設 』について別会社への承継を計画している。別会社への承継により、上記特定施設から排出される水の処理施設である気曝塔（処理施設C）が特定施設『 74 特定事業場から排出される水の処理施設 』に該当するためこの度設置許可を申請する。

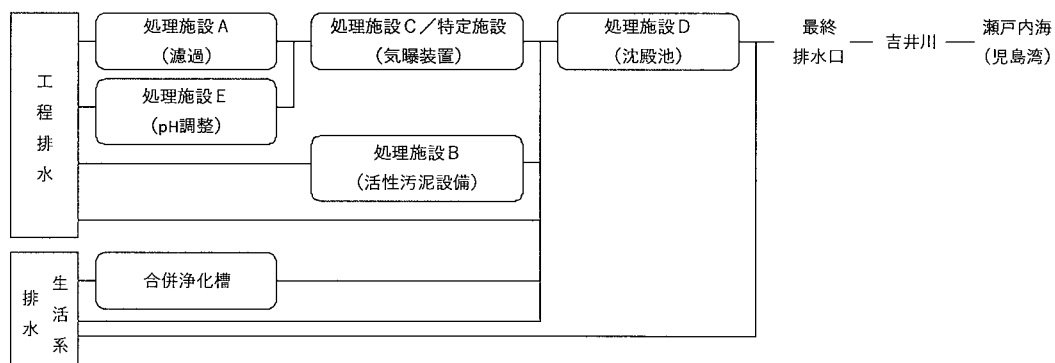
(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変らず）の場合は理由

今回の設置にあたり、構造、用・排水の使用方法、規模、処理方法に変更はなく排水口における排水量及び汚染状態に変更はない。

2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図1のとおり

(2) 排水系統及び水系図の略図



3 工場又は事業場の各排水口における排水水の汚染状態の通常値及び最大の値

当該排水水の1日あたりの通常値及び最大の値並びに当該排水水の汚濁負荷量

排水口	区分	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量 の増減
	項目	通 常	最 大	※負荷量	通 常	最 大	※負荷量	
No. 1 排水口	排出量 (m ³ /日)	66,470	72,000		66,470	72,000		
	pH (—)	6.0～ 8.0	6.0～ 8.0		6.0～ 8.0	6.0～ 8.0		
	BOD (mg/l)	24	28	1,728	24	28	1,728	±0
	COD (mg/l)	20	25	1,440	20	25	1,440	±0
	SS (mg/l)	25	45	1,800	25	45	1,800	±0
	油分 (mg/l)	5	5	360	5	5	360	±0
	大腸菌数 (CFU/ml)	800	800	—	800	800	—	—
	T-N (mg/l)	50	60	3,600	50	60	3,600	±0
	T-P (mg/l)	1.5	2.0	108.0	1.5	2.0	108.0	±0
	CN (mg/l)	0.2	0.2	14.4	0.2	0.2	14.4	±0
	排出量 (m ³ /日)							
	pH (—)							
	BOD (mg/l)							
	COD (mg/l)							
	SS (mg/l)							
	油分 (mg/l)							
	大腸菌数 (個/ml)							
	T-N (mg/l)							
	T-P (mg/l)							
	CN (mg/l)							
現状と 変更後 の比較	排出量 (m ³ /日)	66,470	72,000		66,470	72,000		
	pH (—)	6.0～ 8.0	6.0～ 8.0		6.0～ 8.0	6.0～ 8.0		
	BOD (mg/l)	24	28	1,728	24	28	1,728	±0
	COD (mg/l)	20	25	1,440	20	25	1,440	±0
	S S (mg/l)	25	45	1,800	25	45	1,800	±0
	油分 (mg/l)	5	5	360	5	5	360	±0
	大腸菌数 (CFU/ml)	800	800	—	800	800	—	—
	T-N (mg/l)	50	60	3,600	50	60	3,600	±0
	T-P (mg/l)	1.5	2.0	108.0	1.5	2.0	108.0	±0
	CN (mg/l)	0.2	0.2	14.4	0.2	0.2	14.4	±0

※負荷量 (kg/日) = 最大排出量 (m³/日) × 通常水質 (mg/l) × 10⁻³

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る
環境基準その他水質汚濁に係る環境保全の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基準値	項 目	基準値
カ ド ミ ウ ム	0.003 以下	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 以下
全 シ ア ン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 以下
鉛	0.01 以下	テトラクロロエチレン	0.01 以下
六 価 ク ロ ム	0.02 以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002 以下
ひ 素	0.01 以下	チ ラ ウ ム	0.006 以下
総 水 銀	0.0005 以下	シ マ ジ ン	0.003 以下
ア ル キ ル 水 銀	検出されないこと	チ オ ベ ン カ ル ブ	0.02 以下
P C B	検出されないこと	ベ ン ゼ ン	0.01 以下
ジ ク ロ ロ メ タ ン	0.02 以下	セ レ ン	0.01 以下
四 塩 化 炭 素	0.002 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 以下	ふ っ 素	0.8 以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1 以下	ほ う 素	1 以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 以下	1 , 4 - ジ オ キ サ ン	0.05 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 以下		

(注1) 単位はmg/L

(注2) 「検出されないこと」とは、別に示す方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

(定量限界は、全シアン0.1mg/l、アルキル水銀及びPCB0.0005 mg/l)

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名		吉井川	児島湾
環境基準点		—	吉井川河口部 (地点番号 602)
環境基準類型		B(ロ)	B(ロ) IV(イ)
基準値	水素イオン濃度	6.5～8.5	7.8～8.3
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	3 以下	—
	化学的酸素要求量 (mg/l)	—	3 以下
	浮遊物質 量 (mg/l)	25 以下	—
	溶存酸素 量 (mg/l)	5 以上	5 以上
	大腸菌 数 (CFU/100ml)	1,000 以下	—
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/l)	—	検出されないこと
	全窒素 (mg/l)	—	1 以下
	全りん (mg/l)	—	0.09 以下
	全亜鉛 (mg/l)	—	—
	ノニルフェノール (mg/l)	—	—
	L A S (mg/l)	—	—
	低層 DO (mg/l)	—	—

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

特になし。

5 周辺公共用水域の水質の現状及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 海 域 (出典：令和6年度 岡山県公共用水域水質測定結果)

測 定 点 名		吉井川河口部											
採水年月日及び時間		項目		水 温 (℃)	p H (－)	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	S S (mg/l)	DO (mg/l)	油分 (mg/l)	T-N (mg/l)	T-P (mg/l)	CN (mg/l)
		区分											
第1回 年 月 日 時 分 干満の別：	水 質 の 現 況	表 層											
		中 層											
		平 均											
第2回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層											
		中 層											
		平 均											
第3回 年 月 日 時 分 干満の別：		表 層											
		中 層											
		平 均											
総 平 均				—	8.0	—	2.9	—	8.9	ND	0.55	0.045	ND
将 来 水 質													

(2) 予測の方法

① 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ ☒ 無)

6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての事前評価に関する参考となるべき事項

(1) 特定施設の管理体制

—

(2) 排水の分析

—

別図 1

特定事業場の周辺見取図

岡山市東区

